

JAみえなか

# 自己改革

自己改革報告書2026

不断の自己改革  
への取り組み

農業生産の拡大  
農業者の所得増大

経営基盤の  
確立・強化

元気な  
地域づくり



明日にもっと 笑顔の実り  
5th ANNIVERSARY  
JAみえなか

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

JAみえなかは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

# JAみえなか「不断の自己改革」への取り組み

JAみえなかは、第2次中期経営計画（令和7年度～令和9年度）と併せて、自己改革を実践するための具体的な方針や重点目標・目標値等を明示した自己改革工程表を設定しました。組合員のニーズにかなった取り組みを継続・強化するとともに、一層の「農業者の所得増大」に向けて、新たな品目、品種の導入や既存品目の強化に取り組むほか、JA経営基盤強化や組合員との対話・意志反映の取り組みも継続し、自己改革のさらなる深化をすすめます。

これからも組合員の皆さまとの対話を大切にしながら、事業環境の変化や組合員ニーズの多様化に「不断の自己改革」で挑み、農業・JAの未来のために、今やるべきことを着実に実践します。

JAみえなかは、組合員・地域から「あってよかった、なくてはならないJA」として信頼され、親しまれる「みえなか」を目指します。

## 経営理念

JAみえなかは、食・農・自然を大切にし、協同の力を発揮して、豊かなくらしと地域づくりに貢献します。



## 第2次中期経営計画（令和7年度～令和9年度）

### 【主題と副題】

次代につなぐ「総合事業」と「協同活動」の基盤づくり  
～組合員・地域とともに「食」「農」「くらし」を守ります～

## JAみえなか「不断の自己改革」への取り組み

### 基本目標Ⅰ 食料・農業基盤

多様な農業者の活躍と連携により、「農業生産の拡大」を通じて「農業者の所得増大」につなげ、多彩な地域農業の維持・継続を目指します。

### 基本目標Ⅱ 経営基盤

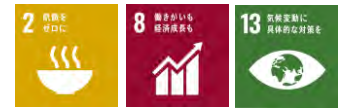
不断の自己改革を継続・実践し、持続可能なJA経営を確立するとともに、組合員や利用者等、JAに関わる全ての人たちから選ばれるJAを目指します。

### 基本目標Ⅲ 組織・地域基盤

組合員の声に基づいた総合事業や協同活動を展開することで、多様な組合員との関係を深め、豊かなくらしの実現と元気な地域づくりへの貢献を目指します。

# 農業生産の拡大から農業者の所得増大へ

## 米の直接販売の強化、耐暑性品種の導入



令和6年度から続く米の価格高騰を背景に、米の争奪戦が起こる中、集荷・販売を強化しています。農業者の手取り向上を目指して、全農のほか**米卸業者への直接販売や、直売所での消費者への玄米予約販売・いまずり米の販売の強化**に取り組んでいます。

また、米の品質向上や収量確保に向けて、耐暑性品種の導入に取り組み、環境に適応した品種構成を検討・実践しています。



### 自己改革工程表 重点目標 米の直接販売や販路拡大による売上増加

|          | 令和6年度   | 令和7年度   |                | 令和8年度   | 令和9年度   |
|----------|---------|---------|----------------|---------|---------|
|          | 実績      | 目標      | 実績             | 目標      | 目標      |
| 米の直接販売数量 | 75,200俵 | 67,000俵 | <b>79,000俵</b> | 69,000俵 | 71,000俵 |

※ 令和7年度は、米生産者に対する積極的な出荷推進と販売先の確保に取り組んだ結果、販売数量は目標を上回りました。

## 主要園芸品目の収量・品質の向上



主要園芸品目と位置づけるいちご・キャベツ・なばな・ブロッコリー・はくさいについて、栽培研修会や園場巡回を通じて、収量・品質向上に取り組んでいます。令和8年4月に**新たに指定野菜に認定されたブロッコリー**については、**新規生産者による作付け面積の拡大**に向けて取り組んでおり、今後生産拡大を目指します。また、**キャベツ・ブロッコリーでは、水田農業の担い手経営体や集落営農組織**に対して作付け推進を行い、**収益性を高める複合経営を提案**しています。



### 自己改革工程表 重点目標 主要園芸品目（5品目）の収量・品質向上による売上増加

|                 |          | 令和6年度   | 令和7年度    |                 | 令和8年度    | 令和9年度    |
|-----------------|----------|---------|----------|-----------------|----------|----------|
|                 |          | 実績      | 目標       | 実績              | 目標       | 目標       |
| 主要園芸品目<br>市場出荷量 |          | 2,382 t | 3,475t   | <b>3,296t</b>   | 3,485t   | 3,500t   |
| 内訳              | (いちご)    | 142 t   | (180t)   | <b>(160t)</b>   | (180t)   | (170t)   |
|                 | (キャベツ)   | 2,109 t | (2,200t) | <b>(1,795t)</b> | (2,000t) | (1,900t) |
|                 | (なばな)    | 50 t    | (70t)    | <b>(49t)</b>    | (50t)    | (50t)    |
|                 | (ブロッコリー) | 81 t    | (125t)   | <b>(83t)</b>    | (125t)   | (130t)   |
|                 | (はくさい)   | —       | (900t)   | <b>(1,209t)</b> | (1,130t) | (1,250t) |

※ 令和7年度は、品目別に栽培研修会や園場巡回等に取り組みましたが、定植期から生育期にかけての猛暑による生育遅れから出荷量が減少し、目標を下回りました。

※ はくさいは令和7年度から自己改革工程表の重点目標に位置付けて進捗管理を行っています。

## 生産トータルコストの低減



農業者の生産トータルコストの低減に向けて、土壌診断に基づく肥料・農薬の適正使用や労力軽減の提案に取り組んでいます。

また、**スケールメリット**を活かした肥料の一括仕入れにより、少しでも安く良質な肥料を供給するため、**予約購買の強化**に取り組んでいます。さらに、農業者支援を目的として、獣害による農作物被害を軽減するために**獣害対策資材に対する一部助成**を行っており、令和7年度には助成額の上限を引き上げました。

令和4年度から、**肥料・農薬の予約購買による年間購入額に応じた事業分量配当**を実施しています。世界情勢を背景に資材価格が高止まりするなか、**令和7年度は配当割合を5%として、配当金計4,438万円を還元**しました。



### 自己改革工程表 重点目標

### 肥料の一括仕入れに向けた予約購買推進によるコスト低減

|        | 令和6年度   | 令和7年度   |                | 令和8年度   | 令和9年度   |
|--------|---------|---------|----------------|---------|---------|
|        | 実績      | 目標      | 実績             | 目標      | 目標      |
| 肥料供給数量 | 59,191袋 | 60,000袋 | <b>60,798袋</b> | 62,000袋 | 65,000袋 |
| 対象品目数  | 4品目     | 4品目     | <b>4品目</b>     | 4品目     | 4品目     |

※ 供給数量には、当用分も含まれています。

※ 令和7年度は、予約購買の一括仕入れに取り組みコスト低減を図り、前年度より供給数量が増え、目標も上回りました。

| 令和7年度対象品目             |                             | 当用価格との価格差                    | コスト低減効果        |
|-----------------------|-----------------------------|------------------------------|----------------|
| セラコートR822<br>エムコート022 | 化成肥料14-14-14<br>みえなか園芸化成682 | <b>1袋あたり<br/>376円～546円削減</b> | <b>2,517万円</b> |

## 農業経営支援のための資金サポート



地域農業を支える農業メインバンクとして、農業者を資金面でサポートしています。**担い手金融リーダー（農業融資担当者）を複数人配置・育成**し、営農経済事業部門の担当者と連携しながら、**訪問活動を通じてニーズを把握し、適切な資金提供**ができるように取り組んでいます。また、大規模農業者等への担い手コンサルティング活動を通じて経営課題を解決するためのソリューションを提供しています。



### 自己改革工程表 重点目標

### 農業経営支援のための資金提供

|           | 令和6年度  | 令和7年度  |               | 令和8年度  | 令和9年度  |
|-----------|--------|--------|---------------|--------|--------|
|           | 実績     | 目標     | 実績            | 目標     | 目標     |
| 農業融資新規実行額 | 708百万円 | 635百万円 | <b>910百万円</b> | 635百万円 | 635百万円 |

※ 令和7年度は、農業者への訪問活動や経営支援等に取り組んだ結果、目標を上回りました。

## 良質な米・麦・大豆づくり

品質向上や収量確保に向け、実証展示圃の設置や土づくり・施肥・防除等の基本技術指導により、環境に適応した品種構成を検討・実践しています。米では、高温に強い耐暑性品種の導入、大豆では「サチユタカA1号」「商系大豆SKT01」の栽培にも取り組んでいます。

| 10a当たり収量 | 6年度実績 | 7年度実績 |
|----------|-------|-------|
| 米        | 483kg | 494kg |
| 麦        | 294kg | 386kg |
| 大豆       | 38kg  | 86kg  |



## 農産物直売所事業の強化

直営3店舗「きっする黒部」「あぐりネット」「ぬくいの郷」と地元量販店等に設置の「インショップ」を運営しています。出荷会員の意欲向上と販売促進強化を目指し、令和7年度にはイオンスタイル松阪船江に新しいインショップを開設、ぬくいの郷では店舗の営業時間を延長しました。また、品揃えや季節のイベントの充実、SNSによる情報発信の強化、職員で結成した「みえなかあぐり隊（MAT）」による農畜産物PR活動に取り組んでいます。

|               | 6年度実績  | 7年度実績  |
|---------------|--------|--------|
| 直売所 販売品取扱高    | 326百万円 | 345百万円 |
| インショップ 販売品取扱高 | 475百万円 | 488百万円 |



## 営農振興助成金の強化

新たな生産振興と新規就農者の育成のため、振興作物であるアスパラガスの施設栽培に取り組む農業者の資材・設備にかかる経費を助成する「営農施設助成金」を創設しました。また、令和8年度には露地野菜を栽培する農業者への助成も新設し、農業者の営農活動を支援しています。



## 出向く営農指導体制の充実

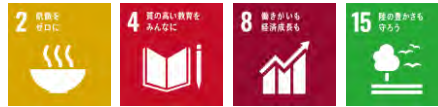
多様化・高度化する担い手経営体のニーズに対応するため、令和5年4月に「TAC課」を設置しました。TACは営農指導員、担い手金融リーダー等の他部門と連携しながら、生産・販売面等経営課題の把握と解決策の提案に取り組んでいます。

※ J Aみえなかの「TAC」とは、担い手経営体を中心に訪問し、情報提供や課題・要望に対応する担当者のことです。



## JA・子会社による農業経営

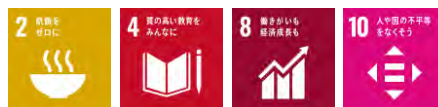
農業者の支援と地域農業の維持・発展のため、JA及び子会社の（株）JAアグリサポートだいちでは農業経営を行っています。自ら農業生産を行うほか、新規就農者の育成、農作業支援等に取り組んでいます。



## 多様な農業者の育成

農業未経験者や農業初心者を対象に、1年かけて野菜作りの基礎を学ぶ菜園塾・野菜塾「みらい」を開講しています。卒業生からは新規就農された方、直売所に出荷される方も誕生しています。

また、福祉事業所との農福連携による農業労働力の確保と就労の場の創出に取り組んでいます。JAや子会社、農業者の圃場で収穫作業や選果場で作業を行っています。



## レンタル農機及び修理・整備サービスの強化

高性能農機具から小型農機具まで、多様な農業者それぞれのニーズに沿った農機具の提案、修理・整備サービスの強化、レンタル農機及び中古農機の取り扱い拡充に向けて取り組んでいます。令和5年4月には、点検整備の迅速化のため、JA管内のコンバイン点検整備を1拠点に集約しました。また、令和8年度には、組合員の声を基に新たに3機種を導入しました。



## 農業リスクを低減する保障の提案

農業者が安心して農業に専念することを支援するため、ライフアドバイザー（共済渉外担当者）による訪問活動や、農機展示会にて農業リスク診断や診断結果に基づく保障提案に取り組んでいます。

| 農業リスク診断数 |
|----------|
| 1,093件   |

（令和7年度実績）



# ＪＡみえなかの自己改革 地域の活性化

## 協同活動を通じた 組合員・地域との関係強化



地域の拠り所となる親しまれるＪＡを目指して、ふれあい・交流を深めることを目的に組織全体で行う「**１支店等１協同活動**」に取り組んでいます。組合員・地域住民・ＪＡ役職員が一緒になって企画・運営する「**地域ふれあい活動**」、ＪＡ役職員が主体となり地域に貢献する「**ＣＳＲ活動**」、より地域に身近な情報を発信する「**支店・事業所だより**」に、各部署が創意工夫して取り組んでいます。



### 【令和7年度の主な活動】

- ・地域ふれあい活動…農業体験学習、親子料理教室、家庭菜園教室、地域イベントへの参画 等
- ・ＣＳＲ活動…交通安全啓発、清掃活動、地域行事への参加、支店来店者イベント、スマホ教室、特殊詐欺防止啓発 等

## 自己改革工程表 重点目標 １支店等１協同活動の実践

|     | 令和6年度 | 令和7年度 |              | 令和8年度 | 令和9年度 |
|-----|-------|-------|--------------|-------|-------|
|     | 実績    | 目標    | 実績           | 目標    | 目標    |
| 活動数 | 560活動 | 560活動 | <b>642活動</b> | 600活動 | 610活動 |

※ 令和7年度は、活動が活発になったことから、目標を上回りました。

※ 令和8年度より活動数のカウント基準を変更し、令和8年度、9年度の目標を変更しました。

## 対話による組合員の意思反映・運営参画の仕組み構築



組合員の声に基づく事業運営や自己改革実践サイクルの構築のため、組合員との対話による意思反映・運営参画の仕組みづくりに取り組んでいます。また、准組合員を「ＪＡ事業の利用と協同活動への参加を通じて、農業・地域経済の発展を農業者とともに支えるパートナー」と位置づけ、正組合員と准組合員が一体となった事業運営を目指しています。

対話手段として「**地区別総代懇談会**」「**地区別座談会**」「**支店運営委員会**」を開催し、中期経営計画の策定前には「**組合員アンケート**」を実施しています。



## 自己改革工程表 重点目標 対話・意思反映

|                    | 令和7年度計画                  | 令和7年度実績                         | 令和8年度計画                  |
|--------------------|--------------------------|---------------------------------|--------------------------|
| 地区別総代懇談会           | 10会場で開催                  | <b>10会場で開催<br/>(295人出席)</b>     | 10会場で開催                  |
| 地区別座談会             | 16会場で開催                  | <b>16会場で開催<br/>(181人出席)</b>     | 16会場で開催                  |
| 支店運営委員会            | 全地区で開催                   | <b>全地区(34地区)で<br/>延べ59回開催</b>   | 全地区で開催                   |
| 広報モニター制度           | 30人に年3回調査を実施             | <b>29人に年3回調査を実施</b>             | 30人に年3回調査を実施             |
| 自己改革の取組<br>及び成果を周知 | リーフレットの作製、<br>広報誌・ＨＰ等へ掲載 | <b>リーフレットの作製、<br/>広報誌・ＨＰへ掲載</b> | リーフレットの作製、<br>広報誌・ＨＰ等へ掲載 |

## 伝わる広報活動の展開

広報誌や地域コミュニティ誌、公式Webサイト、SNS、日本農業新聞、パブリシティといった多様なメディアを使って、JAみえなかの食と農、事業活動、自己改革について、積極的な情報発信に取り組んでいます。また、JAみえなかが事業活動を通じて行うSDGsの取り組みについても、広報誌等で情報発信を行っています。

|                 | 6年度実績  | 7年度実績  |
|-----------------|--------|--------|
| メディア掲載件数        | 32本    | 40本    |
| LINE友だち登録数      | 4,133人 | 4,484人 |
| Instagramフォロワー数 | 1,640人 | 1,855人 |



## 女性の運営参画推進

女性の意見を反映したJA運営を実現するため、女性組織連絡協議会と連携した女性組合員の加入促進やJA女性役員・女性総代の増員に取り組んでいます。

|              | 6年度実績 | 7年度実績 |
|--------------|-------|-------|
| 女性正組合員新規加入人数 | 29人   | 30人   |

\* 資格変更含む

| 女性役員（女性比率） | 女性総代（女性比率）  |
|------------|-------------|
| 6人（18.2%）  | 107人（21.4%） |

\* R8.8月現在



## 相続・事業承継支援体制の強化

農家組合員が次世代・後継者へ円滑に事業承継・資産承継ができるように、令和4年4月には相続窓口「相続事業承継センター」を設置し、税理士や司法書士等の専門家と連携・調整を図りながら、相続発生前・発生後の相談・支援に取り組んでいます。また、必要な専門知識を有する職員の育成を行う等、相続・事業承継支援体制の強化に取り組んでいます。

|             | 6年度実績 | 7年度実績 |
|-------------|-------|-------|
| 相談・事業承継相談件数 | 125件  | 102件  |
| 税務相談件数      | 78件   | 80件   |



## 事業活動を通じた組合員・次世代との関係強化

農業者の減少や組合員の世代交代が急速に進み、JAと組合員・次世代との将来に亘る関係構築が課題となるなか、令和5年2月に「組合員対応方針」を制定し、JAファンづくりや組合員の維持・拡大、次世代組合員へのアプローチ強化に向けて取り組んでいます。



## 女性組織活動の維持・拡大

女性組織会員と意見交換を行いながら、食・農・くらし等をテーマに元気な地域づくりに向けた様々な活動を行っています。

また、女性組織仲間づくり運動や、食農教育活動・フレッシュミズ活動等を通じて新たなＪＡファンづくりに取り組んでいます。



## 地域の居場所づくり・健康づくりへの取り組み

助け合い組織では、ふらっとほーむやミニデイサービスの実施、嬉野福祉会が行う配食サービスへの協力等、高齢者支援や地域住民同士の交流活動に取り組んでいます。また、福祉事業では、いつまでも健康で住み慣れた地域で暮らし続けられるように、介護予防プログラムの提供や、健康と笑いをテーマにした講座「健康倶楽部」を開講しています。令和6年4月には松阪市の委託を受けて、うれしのいきいきサロンを開所しました。



## 地域の住環境の整備と農住まちづくり活動の支援

市街化区域に隣接した遊休農地の有効活用のため、竹林まちづくり推進協議会（松阪市山室町）が運営する農業体験農園の活動を支援しています。農を介した地権者と農園会員との交流、地域コミュニティの形成に貢献しています。



## 総合事業を通じた地域インフラ機能



ＪＡみえなかでは、農業関連事業のほか、信用事業、共済事業、生活購買事業（住宅設備、燃油配送、葬祭等）、介護・福祉事業、不動産・資産管理事業といった総合事業を通じ、地域のインフラとして組合員・地域住民の安心できるくらしに貢献しています。



# J A みえなかの自己改革

## 経営基盤の確立・強化

### 中期経営計画に基づいた計画経営の実践 持続可能な経営基盤の確立・強化



常勤役員による進捗管理レビューや組合員との対話を通じて、自己改革実践サイクルを構築し、第2次中期経営計画で設定した自己改革項目の着実な実践に取り組んでいます。

一方で、みえなか管内の少子高齢化や農業者の減少による正組合員数の減少が進んでおり、こうした情勢のもと、5年後の成り行きシミュレーションを行ったところ、5年後には現状と比べて事業利益が減少する見通しとなりました。しかしながら、事業総利益の減少を事業管理費の削減で補っている収支構造自体に変わりはなく、事業管理費の削減が限界を迎える中で、5年後のその先を見通した収支改善に取り組んでいく必要があります。

そこで、「不断の自己改革」を支える経営基盤の確立・強化のため、令和3年度からプロジェクトを立ち上げ、検討を重ねてきました。令和5年度は、多彩な地域農業の振興と赤字縮小の両立を図るため、営農経済事業の体制整備を実施しました。令和6年度は、支店・事業所再編検討委員会を設置し、新たな拠点としての店舗運営体制について検討を行いました。令和7年度は、職員によるプロジェクトを設置し、新たな活動拠点としての支店のあり方や地域の特性に応じた戦略等について検討を行いました。令和8年度は、持続可能なJA経営を目指し、金融店舗数20店舗構想に向けた新たな活動拠点としての支店戦略を作成し、組合員・利用者の理解醸成に取り組めます。

#### 自己改革工程表 重点目標 将来を見据えたJA経営基盤の確立・強化

|             | 令和7年度 |      | 令和8年度 | 令和9年度 |
|-------------|-------|------|-------|-------|
|             | 目標    | 実績   | 目標    | 目標    |
| 再 編 後 店 舗 数 | 26店舗  | 26店舗 | 26店舗  | 25店舗  |

#### ◆ 営農経済事業 体制整備

- |         |                                   |          |                                                               |
|---------|-----------------------------------|----------|---------------------------------------------------------------|
| 令和4年 4月 | ・ 住宅設備事業の集約<br>(生活センターの集約移転)      | 令和5年 10月 | ・ 農作業支援センター<br>営農振興センターの整備<br>(一部センターの集約・移転統合、<br>13拠点から10拠点) |
| 10月     | ・ 葬祭事業の集約<br>(2グループによる運営)         |          | ・ 営農施設センター一志の整備 (施設管理に特化)                                     |
| 令和5年 4月 | ・ T A C体制の構築<br>(T A C課の新設・担当者増員) | 令和8年 4月  | ・ 燃油配送センターの集約                                                 |
|         | ・ 農機事業の整備<br>(コンバイン点検整備の拠点集約)     |          |                                                               |

#### ◆ 新たな活動の拠点としての支店の目指す姿

「総合事業」「地域密着」「親しみ」といったJAらしさは、今後も変わらない原点としつつ、将来の事業環境の変化を見据え、限られた経営資源の再配置を行い、新たな活動拠点として地域の特性に応じた支店づくりを目指します。

1. 組合員・利用者のライフプランに寄り添った相談機能の強化を図ります。
2. デジタル技術を活用した利便性の向上を図ります。
3. 地域住民が集まるコミュニティの場を目指します。

組合員の皆さまへ

# 営農振興助成金のお知らせ



J Aみえなかでは、地域農業を支援するため、これまでの営農振興助成金をさらに強化しました。ぜひご活用ください。

## 施設園芸助成

|                    |                                            |                                       |
|--------------------|--------------------------------------------|---------------------------------------|
| 助 成 対 象 作 物        | 施設園芸作物（アスパラガス）                             |                                       |
| 助 成 対 象 期 間        | 令和8年4月1日～令和10年3月31日                        |                                       |
| 助 成 予 算 額          | 総額 2,000万円（1,000万円／年度）                     |                                       |
| 助 成 対 象 者          | 100㎡以上の新規取組（新規就農者、経営転換等）                   |                                       |
| 助 成 対 象 経 費        | 資材・施設設備                                    | 新規取組にかかる経費<br>（資材、パイプハウス一式、高畝栽培設備一式等） |
| 助 成 率<br>（ 限 度 額 ） | 上記の経費合計額の50%以内<br>（限度額：令和8年度から通算300万円／経営体） |                                       |

## 園芸生産助成（露地野菜）

NEW

|             |                              |  |
|-------------|------------------------------|--|
| 助 成 対 象 作 物 | 露地野菜（キャベツ・はくさい・ブロッコリー）       |  |
| 助 成 対 象 期 間 | 令和8年4月1日～令和10年3月31日          |  |
| 助 成 予 算 額   | 総額 300万円（150万円／年度）           |  |
| 助 成 対 象 者   | 認定新規就農及び新たに認定農業者となった5年以内の農業者 |  |
| 助 成 額       | 対象作物苗 セルトレイ1枚あたり300円         |  |

## みどり戦略助成

NEW

|             |                                                                               |  |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------|--|
| 助 成 対 象 作 物 | 露地野菜                                                                          |  |
| 助 成 対 象 期 間 | 令和8年4月1日～令和10年3月31日                                                           |  |
| 助 成 予 算 額   | 総額 400万円（200万円／年度）                                                            |  |
| 助 成 対 象 者   | 環境負担軽減への取り組みとして、脱炭素化に向けた環境への配慮や農作業の省力化による農業生産向上を図る農業者、および緑肥の活用により化学肥料低減を図る農業者 |  |
| 助 成 額       | 生分解マルチ購入にかかる一部助成：100㎡あたり2,000円<br>緑肥にかかる種子代の一部助成：1kgあたり500円                   |  |

ご興味のある方は、お近くの農作業支援センター・営農振興センター、  
または本店 営農企画課までお気軽にご相談ください。

# J A 綱領

## ・・・わたしたち J A のめざすもの・・・

わたしたち J A の組合員・役職員は、協同組合運動の基本的な定義・価値・原則（自主、自立、参加、民主的運営、公正、連帯等）に基づき行動します。そして、地球的視野に立って環境変化を見通し、組織・事業・経営の革新をはかります。さらに、地域・全国・世界の協同組合の仲間と連携し、より民主的で公正な社会の実現に努めます。

このため、わたしたちは次のことを通じ、農業と地域社会に根ざした組織としての社会的役割を誠実に果たします。

わたしたちは、

- 一、地域の農業を振興し、わが国の食と緑と水を守ろう。
- 一、環境・文化・福祉への貢献を通じて、安心して暮らせる豊かな地域社会を築こう。
- 一、J A への積極的な参加と連帯によって、協同の成果を実現しよう。
- 一、自主・自立と民主的運営の基本に立ち、J A を健全に経営し信頼を高めよう。
- 一、協同の理念を学び実践を通じて、共に生きがいを追求しよう。

### ◆ J A みえなか 組織・事業概況 (令和7年度実績)

(注) 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しています。

| 組織規模     | 実績        | 事業規模        | 実績      | 経営成績          | 実績         |
|----------|-----------|-------------|---------|---------------|------------|
| 組 合 員    | 31,884人   | 貯 金         | 4,526億円 | 事 業 総 利 益     | 62億6,372万円 |
| (うち正組合員) | (14,415人) | 貸 出 金       | 1,009億円 | 事 業 利 益       | 7億1,812万円  |
| (うち准組合員) | (17,469人) | 長期共済保有高     | 7,665億円 | 経 常 利 益       | 9億5,865万円  |
| 職 員      | 595人      | 購 買 品 取 扱 高 | 53億円    | 税 引 前 当 期 利 益 | 9億4,515万円  |
| (うち正職員)  | (504人)    | 販 売 品 取 扱 高 | 67億円    | 当 期 剰 余 金     | 7億782万円    |

J A みえなか  
イメージキャラクター

## J A みえなかの“今”を発信中！

公式W e b サイトや S N S では、J A みえなかの最新情報をお届けしています。  
ぜひチェックしてみてください。



### J A みえなか公式W e b サイト

<https://www.ja-mienaka.or.jp/>



### J A みえなか公式 S N S

Instagram

Facebook

LINE

YouTube

アクセスは右の二次元コード  
からお願いします

